

○事業者(申請者)の概要

記入例

事業者(申請者)又は外部専門家は、早期経営改善計画書に記載した事業者(申請者)の概要を記載する。

事業者名	株式会社ヴォーノ 代表取締役 計画 太郎					
連絡先	03-xxxx-xxxx	住所	××県△△市●●			
業種	飲食業	設立年月日	S52.9.1	年商	30	百万円
事業内容	イタリア料理店	代表者	●●	年齢	60	歳
資本金	1百万円	従業員数 (うちパート人員数)	6名(3名)	主要金融機関	A銀行	
事業内容・沿革	昭和52年9月 ××県△△市にて創業 平成23年12月 ××県△△市に新店舗設立					
金融機関	①A銀行	②B銀行	③C信金	④	⑤	⑥
株主構成	名前	株数	関係	役員構成	名前	役職
	●●	1,000	社長		●●	代表取締役
	●●	500	長女		●●	取締役
	●●	300	長男		●●	取締役
	計	1,800				

○経営改善計画での具体的施策(アクションプラン)

事業者(申請者)又は外部専門家は、経営改善計画書に記載した「アクションプラン」を記載する。

早期経営改善計画から転写してください。

アクションプランの内容

事業者の課題	実施時期	経営改善計画の具体的施策の内容	計画0年目	計画1年目
			令和元年9月期	令和2年9月期
1 店舗毎の客層を把握しておらず、幅広い顧客に対応するため材料を多く仕入れているが廃棄食材も多い	今期中	●両店でどのようなお客様が来店しているかを調べて実態を把握する。 ●把握した客層を踏まえたメニューを設定して売上げ増加につなげる。	±0	売上+1%
2 料理毎の原価を把握しておらず、利益率などを意識した経営ができていない。	①の結果を踏まえ速やかに着手	●料理毎の原価を把握する ●利益率を勘案して「今日のおすすめ料理」を設定する。	±0	原価率▲1%
3 資金不足になると安易に資金を調達し、販管費などの見直しが出来ていない	・当期中に着手 ・来期中に目処	●共通費なども考慮した店舗別の損益を把握する。 ●両店を比較し、販管費の削減につなげる。 ●社長以外にもこれらについて検討できるよう、後継者についても検討していく。	±0	販管費▲0.5M

モニタリングを実際に実施した日を記載するとともに、何月何日時点の数値を元にモニタリングを実施したのかがわかるように記載してください。

○モニタリング実施時の具体的施策の進捗状況

事業者(申請者)及び外部専門家はモニタリング実施時に、早期経営改善計画に記載した具体的施策の実進状況等について記載する。

モニタリング	予定日: 令和2年10月30日	開催日: 令和2年11月4日(令和2年9月30日時点の数値をもとにモニタリング実施)
事業者(申請者)記載欄	アクションプランの進捗状況	客層についてはアンケートの実施により把握、あわせて、原価率を精査し、両店舗の客層や原価率にあわせてメニューを見直した。また、共通経費について見直しを行い、販管費を▲3百万円とした。
外部専門家記載欄	アクションプランの進捗状況	アクションプラン通りに見直しをすすめているものの、販管費の節減目標には届かなかった。更に見直せる余地が無いのか検討している。
	計画推進に向けた指導内容	営業強化については●●●●に関し××××といった指導を行った。また経費節減に関して△△△△に関し□□□□といった指導を行った。
	今後の課題と考慮事項	販管費の節減については更なる節減が可能であるため、早急に対策を実施する必要がある。原価率についても、一過性のものとするのではなく、定期的に見直す必要がある。
	その他	

○モニタリング実施時の資金実績状況

事業者(申請者)及び外部専門家はモニタリング実施時に、資金実績について記載する

(単位:千円)

年 月期	前年 繰越	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
売上高		2,200	2,300	3,500	2,400	2,300	2,500	3,000	3,000	2,000	2,000	2,100	2,200	29,500
借入		0	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000
返済		380	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	4,010
借入金残高	20,000	19,620	22,290	21,960	21,630	21,300	20,970	20,640	20,310	19,980	19,650	19,320	18,990	-
現預金残高	900	700	2,800	1,500	1,400	1,100	1,200	1,000	900	800	800	900	1,000	-

○モニタリング実施時の損益計画の実績状況

事業者(申請者)及び外部専門家はモニタリング実施時
する。

早期経営改善計画から転写して
ください。

損益計画の実績状況

この欄は自動計算です。

(円)

損益計画の数値		計画値		実績値又は見込み		計画と実績の乖離値	
		令和元年9月期	令和2年9月期	令和元年9月期	令和2年9月期	年 月期	年 月期
売上高		30,000	30,300	29,000	30,150	96.7%	99.5%
営業利益		0	1,235	0	1,000	-	-
経常利益		-800	475	-600	500	75.0%	105.3%
当期利益		-870	405	-800	400	92.0%	98.8%
簡易CF(当期利益+減価償却費)		630	1,605	500	1,600	-	-
金融機関債務残		20,000	19,000	20,000	19,000	-	-

事務局等記載欄

必要に応じて意見等を記載する。

	担当者	記載欄
経営改善支援センター	専門相談員	
	センター長	
	協議会 統括責任者	